



## 質問

適切な情報発信が、生存率に与える潜在的な影響を向上させる可能性がある。劇甚化する災害発生等における情報発信の現状と課題は。

## 答弁

【町長】 災害発生後に、住民が自ら状況を判断して、生命、財産を守るための適切な行動が取れるように、正確な情報を広く 発信することが町の使命だと認識している。防災行政無線、メール、LINE、ほたるチャンネル告知システム、ホームページなどを使っている、場合により広報者の巡回等も行いながら情報を発信している。課題として、町からの情報が着実に届いているか個別に把握する手段がないことが挙げられる。住民が屋外、屋外、町内外どこにいても、また一部のシステムに何らかの不具合が生じたとしても、なるべく多くの方に情報を届けられることができるよう、複数の手段を使って 情報を同時に発信することに努めている現状である。

## 質問

命と健康を守るための熱中症対策の拡充は急務である。乳幼児や高齢者等への予防啓発の拡充を求めるが、取り組み状況は。

## 答弁

乳幼児の保護者には、乳幼児検診、保育園、幼稚園等においてリーフレットを配布、子育てアプリ「母子モ」を利用して周知をしている。また、高齢者は、救急搬送される方全体の約 60%を超える、また、熱中症で、亡くなる方の 80%以上を占めると言われている。出前講座や介護予防事業「ふれあいサロン」において、単に熱中症への注意喚起だけではなく、高齢者の特色等を含め、予防方法についても合わせて説明をしていく。

6 月議会定例会一般質問の内容の概要を紹介します。

辰野町では、大雨災害により甚大な被災を経験しています。住民の皆さんの命を守る施策に、これで大丈夫ということはありません。更なる推進と的確な周知を軸として質問をしました。そのほか、DX 推進による福祉向上や、熱中症対策などの質問をしましたのでご興味のある方は辰野町議会ホームページから一般質問録画を是非ご覧ください。



## 質問

町民のニーズに寄り添った、辰野町DX推進戦略における「書かない窓口」、「行かない窓口」を推進するための今後の取り組みは。

## 答弁

DX推進戦略の目指す姿として、住民ニーズの多様化に「ワンストップフロー、いつでもどこでも速やかに」を合言葉に、住民も職員も、ともに負担が軽減され、相互にメリットのある関係を目指している。その一環として、「書かない窓口」については、マイナンバーカードを用いて「楽々窓口証明書交付サービス」を開始予定。コンビニ交付サービスの基盤を活用して、利用者が同じ画面を操作することで 住民票や印鑑証明書等を発行できるサービスとなっており、待たせることなく証明書交付作業が円滑に行える。

「行かない窓口」は、国が定めたマイナンバーカードを用いた手続きの他に、長野電子申請サービスを利用した子育て関連の申請など、オンライン申請の拡充を進める。また、ワンストップサービスの検討や窓口での手書き記入をしない受け付けなど、今後も検討を進め、住民サービスの向上に努める。

## 9月議会定例会会期日程（予定）

8月29日(火)開会～9月20日(水)閉会

9月 7日(木)、8日(金) 一般質問

\*一般質問の質問順位は、後日決定します。  
～ぜひ、一般質問の傍聴にお越しください～